



【 氏 名 】 上林 孝至

【 2019シーズン 担当カテゴリー 】 U15

### 【 2019シーズンの振り返り 】

2019シーズンは U15を担当させて頂きました。このチームは矢板 SC の2期生にあたり、思えば3年前に、まだできたばかりのチームを選んで頂いたことに感謝しています。それに応えるためにも、1月にチームを預かった時、「卒団時に何を選手たちに残せるか？」を考え自分の中で指導計画をたてました。

サッカーをやっている以上、選手、指導者、サポーター、チームが求めている事は勝利です。主役の選手目線で考えれば、自分が試合に出て活躍し、チームを勝利に導くことがなよりの喜びです。しかし、それは全員が平等に得られる経験ではありません。出場人数、交代枠、登録人数は制限があり、どこかでそれを決断しなければなりません。結果に拘らず全員を平等に出場させる。これも育成年代には必要な1つの考え方です。試合に出場しプレーしてトライ&エラーを繰り返すことで選手は成長します。世界中の指導者はこのバランスを日々試行錯誤し、指導にあたっています。話は戻りますが、2019年の1月に私は2期生(28名の選手)を担当するにあたって、上記の課題に取り組むために1シーズンでどれだけの試合経験ができるか考えてみました。栃木県で U15が出場できる大会は、U15リーグ、クラブユース選手権、高円宮杯、ラストゴール杯の4大会。そこに長期休業中のフェスティバルや練習試合が入ります。これらを大会のレギュレーションや選手の状態をみながら運営計画をたてました。

細かい事はここでは省きますが、「勝利と育成のバランス」を考えながら、2期生の2019シーズンを運営していき  
ました。大会の結果は、

- ・栃木 U15リーグ 3位
- ・クラブユース選手権 3位 関東大会出場
- ・高円宮杯 関東大会出場
- ・ラストゴール杯 優勝

でした。すべての大会で勝ち、全ての選手を満足させる事は現実的には難しいかもしれません。

ですが、それを実現すべくトライしていくことが選手、チーム、自分自身の成長につながると信じています。

